

戸山

新宿区立戸山小学校

入門期の指導を大切に行います

～1年生59名の仲間入り 戸山小架け橋プログラムの実施～
副校長 諏訪部 浩志

♪ 戸山が原の朝風に わが手わが足いさみたち ♪

教室から明るく元気な歌声が聞こえてきます。1年生が音楽の授業で校歌の学習をしています。ニコニコ笑顔が印象的です。入学して早一か月。大きな環境の変化の中で様々なストレスを感じることも多い毎日だとは思いますが、良い姿勢で学習に一生懸命取り組む1年生の姿に感心し、今後の成長に期待しています。

「小1プロブレム」、保育園や幼稚園、子ども園を卒園した子どもたちが、小学校生活や雰囲気になかなか馴染めず、落ち着かない様子が数か月継続する状態をいいます。園教育とのギャップにうまく適応できない子どもたちの姿を目の当たりにすると胸を痛めます。子どもたちはそれぞれの園で、自分で考え、判断しながら多くの体験を重ねてきています。園のリーダーとして活躍し、年少の子たちの憧れの存在だったはずです。本校では、小学校という新たなステージに進んだ子どもたちが、各園での取り組みを生かして、さらに成長していけるよう工夫しながら教育活動を行っています。

文部科学省は、2022年に「幼保小の架け橋プログラム」の推進を決定しました。義務教育開始前後の5歳児から小学1年生の2年間のことを「架け橋期」といいます。

新宿区では、令和8年度「新宿区教育ビジョン」の重点として、『就学前から中学校までのつながりのある教育の推進』を掲げています。区の方針を受け、本校では、保・幼・子・小合同会議の充実を図り、就学前教育と小学校教育の相互理解を進めます。また、今年度1年をかけて、「戸山小架け橋プログラム」を作成していきます。

<戸山小で大切にしていくこと>

- 自分でできることを増やし、自分のことは自分で行うよう見守り、支援する。
- すべての教育活動において、子どもたち自身に考えさせることを大切にしていく。
- 一単位時間（45分）を、例えば15分ずつの活動を組み合わせるなど、子どもたちの集中が持続するよう学習計画を工夫する。
- 生活科で取り組む学校探検等の体験的な学びと他教科の関連を図る。

本校では、今後も園教育との円滑な接続の下、子どもたちが安心して学習や生活に取り組んでいけるよう教育活動を進めていきます。子どもたちにかかわってくださるすべての皆様方のご協力を切にお願いいたします。

☆☆体力テストについて☆☆

4月27日（月）から、体力テストが始まりました。50m走や上体起こしなどの8種目に取り組み、記録を測定します。体力テストは、現時点での自分自身の体力を知るよい機会です。子どもたち自身が体力の向上に興味関心をもち、今後の運動習慣につながるよう指導していきます。

また、4月27日（月）、28日（火）の2日間は、低学年の測定のお手伝いで、5・6年生が活躍しました。一生懸命にやり方を教えてあげるかっこいい高学年の姿を見せてくれました。

一昨年度から、記録などを専門用紙に記入する方法から、タブレットでの入力に変更になりました。児童が学校で入力しますが、特に、低学年のご家庭には、生活習慣に関する質問の回答をお願いすることになります。ご多用の中、お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。詳細は後日、配布物にてお知らせします。

☆☆運動会について☆☆

5月23日（土）に運動会を実施します。

今年度の運動会は、児童が応援・鑑賞し合う時間を増やし、係の仕事に6年生だけでなく5年生も参加するなど、より学校全体で行事に取り組めるように計画しています。

連休明けになると、本格的に練習が始まります。暑い日が続くことが予想されますので、水筒、汗拭きタオル等を持たせていただき、お子さんの体調管理にもご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

後日、お知らせのお手紙やプログラムを配布します。ご確認ください。

※今年度は12時40分頃、終了の予定です。種目は低学年、中学年、高学年の順で行います。また、子どもたちは、閉会式終了後、教室でお弁当を食べ、5校時に振り返りをしてから下校します。

